

令和7年度第2回山梨県がん対策推進協議会

●前回いただいた意見 【資料スライド 2-3】

- ・ 前回の協議会でいただいた4つの意見（ロジックモデルのシェアード・ディシジョン・メイキング（SDM）の追加、HPVワクチン接種率向上対策、喫煙対策、がん医療提供体制）について、次の議題で協議または報告させていただきます。

●議題1:協議事項 【資料スライド 4-7】

山梨県がん対策推進計画(第4次)ロジックモデルの項目追加について

- ・ 前回の協議会において意見が述べられました、山梨県がん対策推進計画（第4次）のロジックモデルへSDMを追加することについては、第4次計画の内容に沿う形で、分野別目標2「患者本位で持続可能ながん医療の提供」の施策・アウトプットに「シェアード・ディシジョン・メイキングの推進」を追記し、施策の主体については「県・拠点病院等」としました。
- ・ 中間アウトカムは、公的な評価指標が示されていないため、今回は設定しておりません。
- ・ ここで協議をいただきたいのは次の2つです。
- ・ ① SDMの追加について、了承いただけますか。了承いただけない場合は、その理由を教えてください。
- ・ ② SDMの推進に必要な取り組みについて御意見ください。

●議題2:報告事項 【資料スライド 8-16】

(1)HPV ワクチンの接種率向上対策について

- ・ 前回の協議会において意見が述べられました、HPVワクチンの接種率向上に向けた今年度の県の取り組みをご報告させていただきます。
- ・ 長期休暇中のワクチン接種について、冬休み前の令和7年12月に、県の公式SNS（X、LINE、Facebook）により周知を行いました。今後も長期休暇においてワクチン接種を検討していただけるよう、夏休み前などの時期に情報発信を行っていきます。
- ・ 可能な限り接種対象者に情報が届くよう、令和7年8月に、県教育委員会と連携し、接種対象者とその保護者向けのリーフレット（厚生労働省作成）を県内の公立中学校および高校へ配布しました。
- ・ HPVワクチンに関する情報や接種後の気になる症状に関する相談体制を周知するための啓発資材を、協力医療機関である山梨大学医学部附属病院産婦人科の医師の協力のもと作成し、年度内に医療機関等へ配布予定です。
- ・ 今後も関係機関と連携し、HPVワクチンの接種率向上に取り組んでいきます。

(2)5年生存率と喫煙対策について

- ・ 前回の協議会において意見が述べられました喫煙対策について、まずは令和8年2月13日に厚生労働省が公表した最新の各がんの「5年生存率」のグラフを御覧下さい。
- ・ 今回公表した2016-2018年から、生存率の算出方法が「相対生存率」から「純生存率」へ変更されました。これに合わせて、過去の2009-2011と2012-2015の値も「純生存率」で再算出されています。
- ・ 「相対生存率」と「純生存率」の定義は、資料を御参照下さい。
- ・ 2016-2018年において、本県は胃がんと大腸がんの生存率が全国を下回っていますが、いずれもその差は縮小しています。
- ・ また、2012-2015年と2016-2018年を比較すると、本県の生存率はすべてのがん種で上昇しています。特に肺がんは10%以上改善しました。
- ・ 前回の協議会では、肺がんの生存率向上には喫煙対策の強化が重要であるとの御意見をいただきました。県ではイベント等での普及啓発、小・中学校や事業所における出前講座、禁煙サポート薬局・薬店の登録、禁煙支援従事者研修会の開催など、さまざまな取り組みを実施してきました。
- ・ 最新の生存率は改善傾向にあります。今後もこれらの取り組みを継続し、肺がんの生存率の更なる向上を目指していきます。

(3)がん医療提供体制について

- ・ 前回の協議会において意見が述べられました県内における放射線治療提供体制の現状を含めたがん医療提供体制についてご報告させていただきます。
- ・ 県内では、現在、市立甲府病院と富士吉田市立病院が放射線治療を停止している影響で、他の施設に患者が集中し、迅速な治療が受けられない状況となっております。
- ・ こうした状況を受け、県では応急的な対応として、山梨大学医学部附属病院における放射線治療の診療体制拡充に向けた取り組みに対して補助を行うため、予算案を2月議会へ提出し、現在審議いただいているところです。
- ・ 一方、厚生労働省においては、令和7年8月に、がん診療提供体制のあり方に関する検討会による「今後のがん医療提供体制に関するとりまとめ」を公表し、医療提供体制の均てん化と集約化を進め、持続可能ながん医療提供体制の再構築を図るための方針を示しました。
- ・ この中では、都道府県は、がん診療連携拠点病院等連絡協議会に参画し、地域医療構想や医療計画と整合性を図りつつ、将来の医療需要から都道府県内で均てん化・集約化が望ましい医療について整理することとされています。
- ・ 本県では、国の方針を踏まえながら、放射線治療提供体制を含め、将来的な医療需給を勘案しつつ、長期的ながん医療提供体制について、今後、関係機関との検討を進めていきたいと考えております。

(4)その他

県下統一運用について

- ・ 各がん検診の県下統一運用状況について、子宮頸がん、胃がん、大腸がんの検診については既に運用を開始しており、乳がん、肺がんについても来年度から運用を開始します。
- ・ 令和3年度から開始した子宮頸がんの精検受診率は改善し、効果が現れています。
- ・ 今後は、検診の精度管理について評価、検討する場である山梨県生活習慣病検診管理指導協議会の各がん部会で運用状況を注視していきます。

来年度の予定

- ・ 来年度は第4次山梨県がん対策推進計画の中間評価を実施するため、3回の協議会開催を予定しております。
- ・ 3回のスケジュールや内容は来年度の第1回協議会でお示しする予定です。

説明は以上となります。

御意見等について、別紙「意見提出票」により御提出くださいますようお願いいたします。